

ビッグデータ等を活用した  
訪日外国人観光客の動向等の調査・分析業務  
報告書

ビッグデータ等を活用した戦略的観光振興委員会

北九州市

下関市

公益財団法人 北九州観光コンベンション協会

一般社団法人 下関観光コンベンション協会

平成30年3月

# 目次

<b>第1部 インバウンドの現状</b> .....	<b>1</b>
第1章 日本のインバウンドの状況.....	1
第2章 九州におけるインバウンドの状況.....	3
第3章 北九州市・下関市のインバウンドの状況 .....	5
<b>第2部 事業の概要</b> .....	<b>6</b>
第1章 事業の目的 .....	6
第2章 調査の内容 .....	7
第1節 ビッグデータによる主要ルート分析.....	7
第2節 アンケート調査分析 .....	11
<b>第3部 調査分析結果【韓国編】</b> .....	<b>17</b>
第1章 入出国の状況.....	17
第1節 就航状況.....	17
第2節 空港・港別入出国の状況 .....	22
第2章 行動パターン分析.....	24
第1節 九州を訪れた観光客の主要ルート .....	24
1. 各種データによるルート分析 .....	24
2. 各種データによる宿泊分析.....	32
3. 利用交通機関分析 .....	41
4. 九州における主要ルート .....	42
第2節 北九州市・下関市を訪れた観光客の主要ルート .....	45
1. 各種データによるルート分析 .....	45
2. 各種データによる宿泊分析.....	47
3. 利用交通機関分析 .....	53
4. 北九州市・下関市を訪れた観光客の主要ルート .....	54
第3節 北九州市・下関市内の訪問地 .....	58
1. アンケートによる訪問地分析 .....	58
2. アンケートによる利用交通機関分析 .....	59

<b>第4部 調査分析結果【台湾編】</b> .....	<b>60</b>
第1章 入出国の状況.....	60
第1節 就航状況.....	60
第2節 空港別入出国の状況 .....	62
第2章 行動パターン分析.....	63
第1節 九州を訪れた観光客の主要ルート .....	63
1. 各種データによるルート分析 .....	63
2. 各種データによる宿泊分析.....	70
3. 利用交通機関分析 .....	80
4. 九州における主要ルート .....	81
第2節 北九州市・下関市を訪れた観光客の主要ルート .....	84
1. 各種データによるルート分析 .....	84
2. 各種データによる宿泊分析.....	86
3. 利用交通機関分析 .....	91
4. 北九州市・下関市を訪れた観光客の主要ルート .....	92
第3節 北九州市・下関市の訪問地.....	93
1. アンケートによる訪問地分析 .....	93
2. アンケートによる利用交通機関分析 .....	94
<b>第5部 調査分析結果【香港編】</b> .....	<b>95</b>
第1章 入出国の状況.....	95
第1節 就航状況.....	95
第2節 空港別入出国の状況 .....	97
第2章 行動パターン分析.....	98
第1節 九州を訪れた観光客の主要ルート .....	98
1. 各種データによるルート分析 .....	98
2. 各種データによる宿泊分析.....	105
3. 利用交通機関分析 .....	114
4. 九州における主要ルート .....	115
第2節 北九州市・下関市を訪れた観光客の主要ルート .....	118
1. 各種データによるルート分析 .....	118
2. 各種データによる宿泊分析.....	120
3. 利用交通機関分析 .....	124
4. 北九州市・下関市を訪れた観光客の主要ルート .....	125

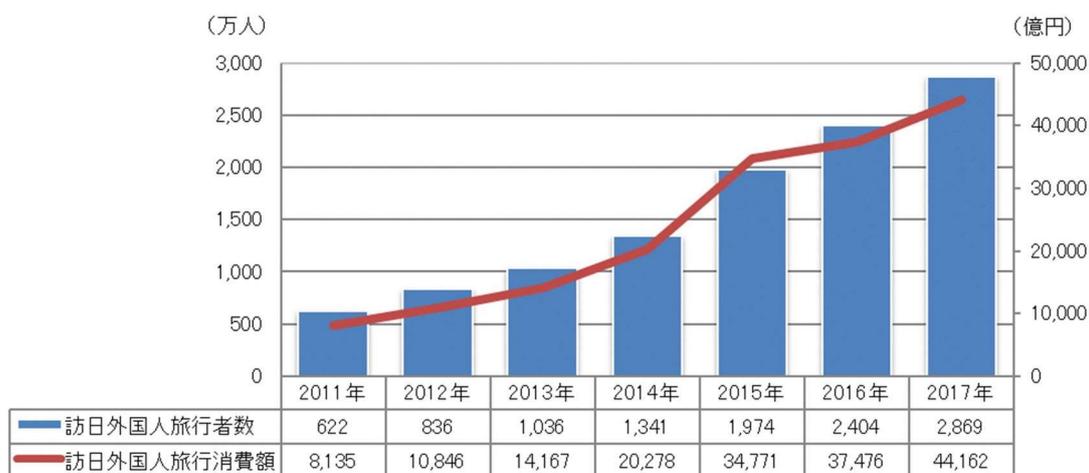
第3節 北九州市・下関市内の訪問地 .....	128
1. アンケートによる訪問地分析 .....	128
2. アンケートによる利用交通機関分析 .....	128
<b>第6部 観光施策（プロモーション・受入環境整備）の方向性 .....</b>	<b>129</b>
第1章 アンケート結果に見る3つの国・地域の特徴 .....	129
第1節 比較から見える特徴 .....	129
第2節 3つの国・地域ごとの特徴 .....	134
第2章 韓国への施策 .....	135
第1節 プロモーションの方向性 .....	135
第2節 受入環境整備の方向性 .....	135
第3章 台湾への施策 .....	137
第1節 プロモーションの方向性 .....	137
第2節 受入環境整備の方向性 .....	137
第3章 香港への施策 .....	138
第1節 プロモーションの方向性 .....	138
第2節 受入環境整備の方向性 .....	138

# 第1部 インバウンドの現状

## 第1章 日本のインバウンドの状況

観光庁「旅行・観光消費動向調査」によると、平成28年の日本人の国内宿泊観光旅行の回数、宿泊数、延べ人数、消費額の各指標は前年比でわずかに増加しているものの、長期的には横ばいの傾向にあり、大幅な需要の増加は見込みにくい。

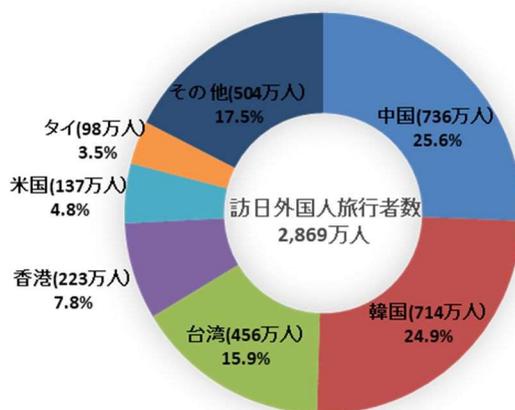
一方、訪日外国人（インバウンド）旅行者数は平成25（2013）年に1,000万人を突破、平成28（2016）年には2,400万人を超えるなど増加の一途にあり、平成29（2017）年も2,869万人と、6年連続で過去最高を更新した。



出典：日本政府観光局（JNTO）「訪日外客統計」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」

図表1-1（1） 訪日外国人旅行者数・旅行消費額の推移

訪日外国人旅行者の内訳は、中国が736万人、韓国が714万人、台湾が456万人、香港が223万人と東アジアの4つの国・地域で全体の4分の3を占めている。



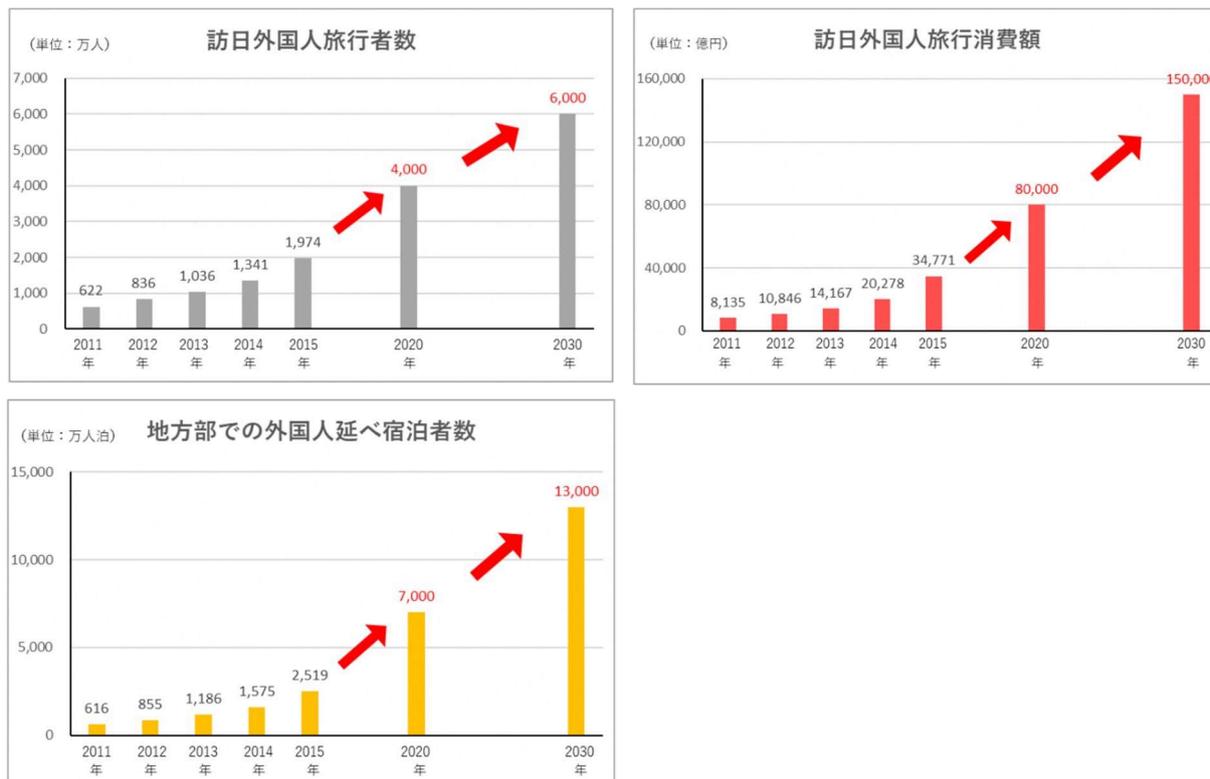
出典：日本政府観光局（JNTO）「訪日外客統計」を加工して作成

図表1-1（2） 訪日外国人旅行者の内訳（2017年）

第1部 インバウンドの現状 / 第1章 日本のインバウンドの状況

政府が「ビジット・ジャパン・キャンペーン」を開始した平成15年は、訪日外国人旅行者が521万人であった。その後一時的に落ち込みがあったものの、近年は右肩上がり増加しており、平成28年に政府が策定した「明日の日本を支える観光ビジョン」で掲げられた平成32(2020)年に4,000万人、平成42(2030)年に6,000万人という目標に向けて順調に推移している。

旅行者数に比例して旅行消費額も増大が見込まれ、平成32(2020)年に8兆円、平成42(2030)年には15兆円に上ると推計されている。また、地方部での外国人延べ宿泊者数についても平成32(2020)年に7,000万人泊、平成42(2030)年には1億3,000万人泊という推計値が出ている。



出典：観光庁「明日の日本を支える観光ビジョン 施策集」を加工して作成

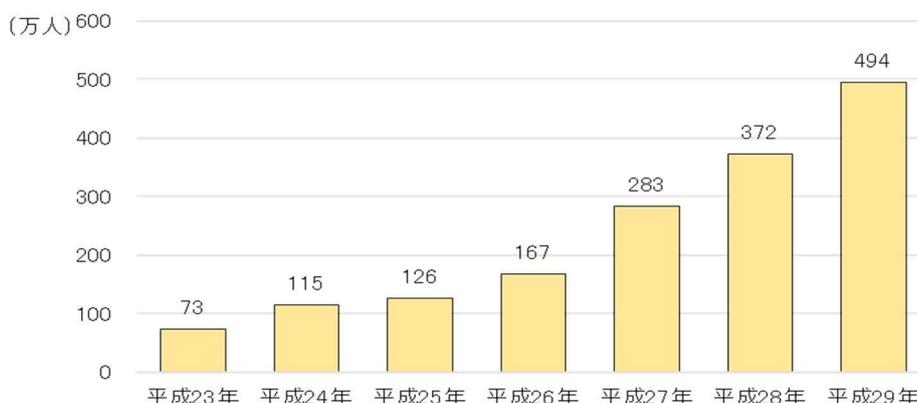
図表1-1(3) 「明日の日本を支える観光ビジョン」数値目標

訪日旅行の形態は、東京・京都・大阪を中心としたいわゆるゴールデンルートから地方への拡散が進み、各地に外国人観光客が訪れている。この状況を受けて全国の都市がそれぞれの特色を打ち出したインバウンド誘致に取り組んでおり、都市間競争が激化の様相を呈している。外国人観光客の訪日目的についても「爆買い」と呼ばれた日本製品の大量購入(モノ消費)から、日本ならではの体験(コト消費)に移行する変化が見られ、より地域ならではの魅力が求められている。

LCCなど航空路線の拡大により個人旅行者が増加傾向にあり、ますます多様化していく旅行者のニーズを捉えるためには、各地域が外国人観光客の動向やニーズを正確に把握し、戦略的にインバウンド誘致に取り組む必要がある。

## 第2章 九州におけるインバウンドの状況

九州を訪れた訪日外国人数は平成26年に167万人、平成27年に283万人（前年比+70%）、平成28年に372万人（前年比+31%）と増加の一途をたどっており、6年連続で過去最高を更新した。

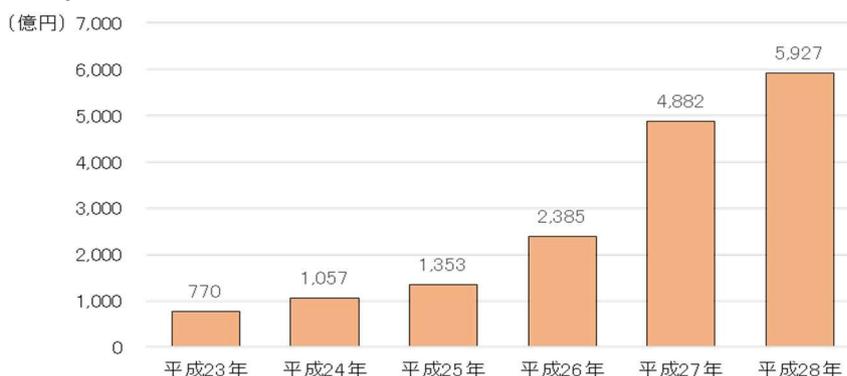


出典：法務省「出入国管理統計」を加工して作成

図表1-2(1) 九州を訪れた訪日外国人数の推移

平成28年4月に発生した熊本地震の影響により、クルーズ船客等の特例上陸を除く外国人入国者数は、地震発生から2ヶ月間は前年割れとなったものの、6月以降は徐々に回復が見られた。全国的な増加傾向と比較すると平成29年3月頃までの約1年間は九州地域の伸び率は低かったが、同年4月以降は順調に推移しており、5月には特例上陸を除く対前年比が200%を超えている。

次に、日本銀行福岡支店「2016~17年版：九州・沖縄におけるインバウンドの動向と消費額の推計」によると九州・沖縄の「訪日外国人旅行消費額」は、平成26年に2,385億円、平成27年に4,882億円（前年比+105%）、平成28年に5,927億円（前年比+21%）と、訪日人数と同じく旅行消費額についても大幅な増加傾向にある。



出典：日本銀行福岡支店「2016~17年版：九州・沖縄におけるインバウンドの動向と消費額の推計」を加工して作成

図表1-2(2) 九州・沖縄の訪日外国人旅行消費額の推移

また、九州の訪日外国人旅行者（国籍が特定できない一時上陸者を除く）の地域別構成比は、韓国、中国、台湾、香港といったアジア地域が全体の90%以上を占めており、全国と比較しても特にアジア地域に偏っていることが特徴的である。その背景には「ビザ発給の緩和」「消費税免税制度の拡充」「LCCの就航数の増加」といった訪日外国人向けの施策があり、「アジアに近い」という利点に基づいた手ごろな海外旅行先として、九州が選ばれている。

第1部 インバウンドの現状 / 第2章 九州におけるインバウンドの状況

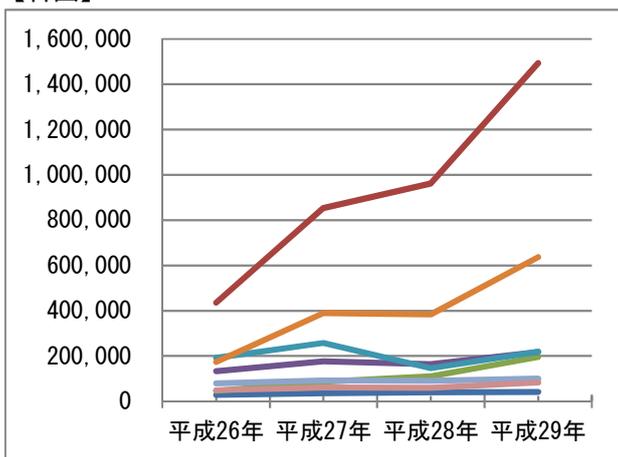
日本政策投資銀行「九州インバウンド観光振興に向けて～DBJ・JTBF 訪日外国人旅行者の意向調査（平成28年版）～」によると、東アジアにおける九州の認知度は50%を上回っているものの、全国的なゴールデンルート（東京、京都、大阪）、北海道、沖縄といった、他の人気観光地の認知度（おおむね70～80%）に比べて低い状況にある。

また、同調査における国内観光地への訪問意欲については、東京、京都、大阪、北海道が50%前後であったのに対して、九州は約20%と開きがあった。ただし訪日回数2回以上のリピーターについては、九州の認知度は60%超と他の人気観光地と同程度であることと、東京、大阪の訪問意欲が訪問回数を重ねるごとに低下ないし横ばい傾向であるのに対して、九州への訪問意欲は増加していることから、九州は東京、大阪よりも訪日リピーターに好まれる傾向にある。

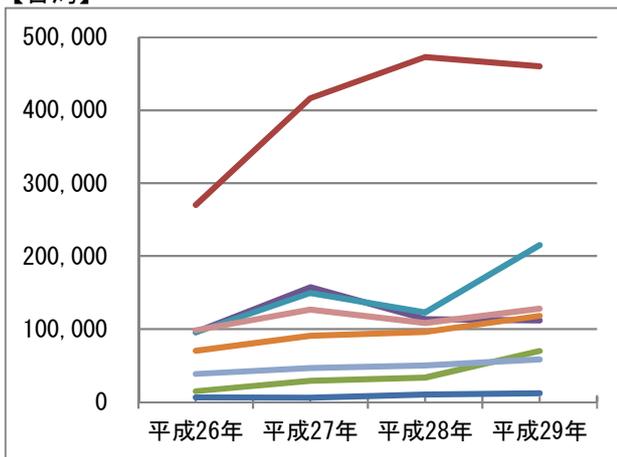
九州・山口のインバウンドの状況について、平成26年以降の県別延べ宿泊者数の推移で見ると、熊本地震の影響と思われる一時的な落ち込みが平成28年に熊本県、大分県などで見られるものの、いずれも翌年には持ち直しており、おおむね増加の傾向を示している。

香港については、特に鹿児島県の宿泊者数の伸びが著しく、平成26年3月及び平成28年7月の鹿児島空港への定期便の就航が、宿泊者数の増加に影響しているものと考えられる。

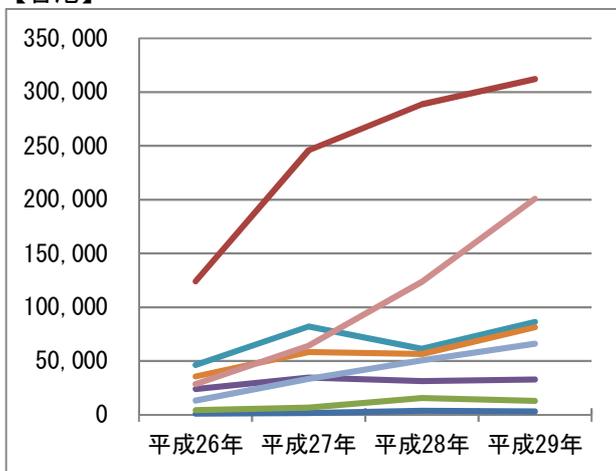
【韓国】



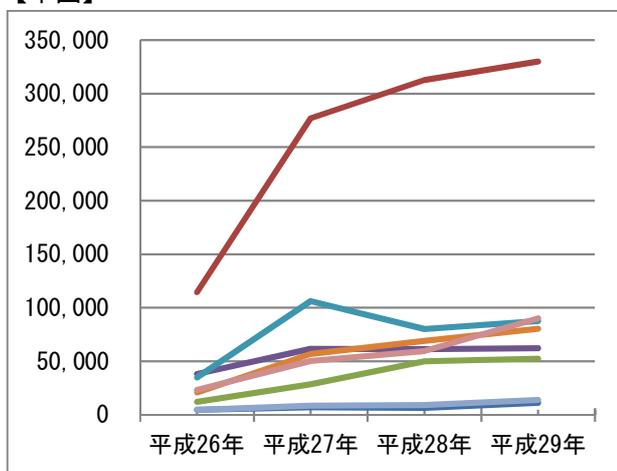
【台湾】



【香港】



【中国】



単位：人

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」を加工して作成

図表1-2(3) 県別外国人宿泊者数の推移

### 第3章 北九州市・下関市のインバウンドの状況

北九州市における外国人観光客数は、平成24年からの5年間で大きく増加している。

中でも韓国からの観光客数は平成28年には前年比50%増の13.4万人にのぼり、市全体の外国人観光客数のおよそ4割と最も多くなっている。

台湾は韓国の次に観光客数が多く、市全体の外国人観光客数のおよそ3割強を占める。平成28年には12.0万人にのぼり、前年比で46%の増加となった。

香港からの観光客数は韓国、台湾、中国の次に多い。年々増加傾向にあり、平成28年は1.4万人であった。

図表1-3(1) 北九州市外国人観光客数

	平成24年		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年	
	人数	割合								
韓国	4.7	41.6%	5.7	43.2%	5.9	35.3%	8.9	35.3%	13.4	38.4%
台湾	3.2	28.3%	3.7	28.0%	5.8	34.7%	8.2	32.5%	12.0	34.4%
香港	0.2	1.8%	0.3	2.3%	0.8	4.8%	0.9	3.6%	1.4	4.0%
中国	1.3	11.5%	1.4	10.6%	1.6	9.6%	3.8	15.1%	4.7	13.5%
その他	1.9	16.8%	2.1	15.9%	2.6	15.6%	3.4	13.5%	3.4	9.7%
総数	11.3		13.2		16.7		25.2		34.9	

単位:万人

出典:北九州市「平成28年次 外国人観光客数について」

下関市における外国人旅行者数の実数は、現在集計に至っていないが、外国人宿泊客数は延べ人数により平成24年からの5年間順調に推移している。平成28年は1万9千240人で、平成27年の1万3千571人に対し41.8%の増加となっている。国別では韓国が最も多く、全体の4割近くを占める(平成28年)。韓国の次に多いのは中国で、以下台湾、香港と続く。

図表1-3(2) 下関市外国人宿泊客数(延べ人数)

年次	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
人数	6,539人	9,857人	8,285人	13,571人	19,240人

出典:下関市「下関市観光交流ビジョン2022(附則)(平成29年度)」

## 第2部 事業の概要

### 第1章 事業の目的

前述の通り、全国的なゴールデンルート（東京・京都・大阪）から地方への訪日外国人観光客の拡散傾向、およびモノ消費からコト消費への大規模なシフトを踏まえて、各地域が動向把握に努めつつ、それぞれの魅力を発信する戦略的なインバウンド誘致に取り組んでいる。

しかしながら、北九州市・下関市がこれまで把握していたのは「団体ツアー客」の動向が主であり、増加する「個人観光客」の動向がデータとして掴みきれていなかった。

このため、本調査では、韓国、台湾、香港の個人観光客を対象として、携帯電話の移動ログデータや宿泊データなどビッグデータ等の収集を行うとともに、アンケート調査を行い、これらを総合的に分析することで、今後の戦略的かつ効果的なプロモーションや受け地整備につなげることを目的に実施するものである。

なお、調査の対象については、九州・関門地域内の空港・港を利用した入国者数の上位3地域であり、また、旅行手配手法において、「往復航空（船舶）券と宿泊等がセットになった個人旅行向けパッケージ商品を利用した旅行者」と「往復航空（船舶）券や宿泊等を個別に手配した旅行者」を合わせた割合が高い（韓国：88.9%、台湾：67.8%、香港：89.8% 出典：観光庁「平成28年訪日外国人の消費動向」）ことから、韓国・台湾・香港の3地域とすることとした。

本調査の分析については、立命館大学中谷友樹教授、皇學館大学桐村喬助教、国立情報学研究所相原准教授の協力のもと実施した。

## 第2章 調査の内容

### 第1節 ビッグデータによる主要ルート分析

#### ■調査概要

携帯電話のローミングデータやスマートフォン用アプリのログデータなどを解析し、以下の観光ルートについて移動経路や宿泊地などの分析を行った。

- (1) 九州を訪れる外国人観光客の主要観光ルート
- (2) 九州を訪れる外国人観光客のうち、北九州市又は下関市に立ち寄った者の主要観光ルートの抽出
- (3) 北九州市・下関市内の訪問地

#### ■使用したデータ

ビッグデータ等を活用した訪日外国人旅行者の動向等調査・分析業務を行うにあたり、下記のデータを使用した。

- (1) モバイル空間統計

##### 《概要・特徴》

NTTdocomo の携帯電話ネットワークの仕組みを使用して作成されるローミング情報から得られる人口統計情報であり、訪日外国人観光客の国・地域別の人口構成を知ることが可能。

##### 《データ期間》

平成28年10月

##### 《データ項目》

国籍、滞在地、当該地域訪問前の滞在地、次の滞在地

##### 《分析可能な内容》

入出国ルート、訪問観光地、2点間訪問地ルート、宿泊地、国・地域別の特徴

##### 《対象エリア》

福岡、太宰府、北九州、下関、柳川、佐賀、武雄嬉野、唐津、長崎、佐世保、平戸、雲仙島原、五島、対馬、熊本、阿蘇、黒川温泉、天草、人吉、大分、別府、由布院、日田、宮崎、日南、高千穂、鹿児島、指宿、霧島

##### 《分析手法》

29エリア×29エリアのOD表を使ったクロス集計を軸とする。

※OD：起点 (Origin) から終点 (Destination) に向けたヒトの流れを数値化したもの。

- (2) DiGJAPAN!

##### 《概要・特徴》

訪日外国人観光客向け日本周遊アプリ「DiGJAPAN!」のユーザーログデータ。約10,000か所の日本全国の駅、空港、観光施設、海外の空港にジオフェンスと呼ばれる仮想領域を設定し、そこを通過するユーザーのログを解析することで、訪日外国人観光客の動向把握が可能。

## 第2部 事業の概要 / 第2章 調査の内容

### 《データ期間》

平成28年8月～平成29年10月

### 《データ項目》

国籍、滞在地、当該地域訪問前の滞在地、次の滞在地

### 《分析可能な内容》

入出国ルート、訪問観光地、複数訪問地ルート、宿泊地、宿泊数、国・地域別の特徴

### (3) 国土交通省 「FF-Data (訪日外国人流動データ)」

#### 《概要・特徴》

国土交通省の「訪日外国人消費動向調査」及び「国際航空旅客動態調査」、法務省「出入国管理統計月報」で得られた情報を活用して作成された訪日外国人の日本国内での移動について分析するためのデータ。各都道府県の訪問者について国籍、旅行目的の他、周遊ルートや移動の際の利用交通機関等について分析することが可能。

#### 《データ期間》

平成26年4月～平成28年12月

#### 《データ項目》

都道府県間流動量、県別入込者数、属性(国籍、目的、出国空港)、周遊ルート、泊数、交通機関分担率

#### 《分析可能な内容》

訪問地ルート、宿泊パターン、国・地域別の特徴、熊本地震前後の違いについて

### (4) Agoda 宿泊数データ

#### 《概要・特徴》

アジアを中心としたオンラインホテル予約サイト Agoda に投稿された、実際に当該宿泊施設に宿泊した旅行者の書き込みを解析することで、宿泊地や連泊の有無などの動向把握が可能。

#### 《データ期間》

平成27年4月～平成29年11月

#### 《データ項目》

国籍、宿泊施設、宿泊月、泊数、グループ属性

#### 《分析可能な内容》

宿泊地、宿泊日数、国・地域別の特徴、熊本地震前後の違いについて

### (5) 法務省「出入国管理統計月報」

#### 《概要・特徴》

全国の港、空港ごとに国籍別の出入国者数がわかる統計。九州内の各港、空港での出入り動向の参考となる資料。

#### 《データ期間》

平成27年4月～平成29年12月

## 第2部 事業の概要 / 第2章 調査の内容

### 《データ項目》

港別、空港別出入国者数（国籍・地域別）

### 《分析可能な内容》

入出国ルート、国・地域別の特徴、熊本地震前後の違いについて

### （6）観光庁「訪日外国人消費動向調査」

#### 《概要・特徴》

観光庁の我が国のインバウンド動向の基礎的資料となっている調査。下関港、福岡空港、博多港などでアンケート調査を実施し、九州内での動向の参考となる資料。

#### 《データ期間》

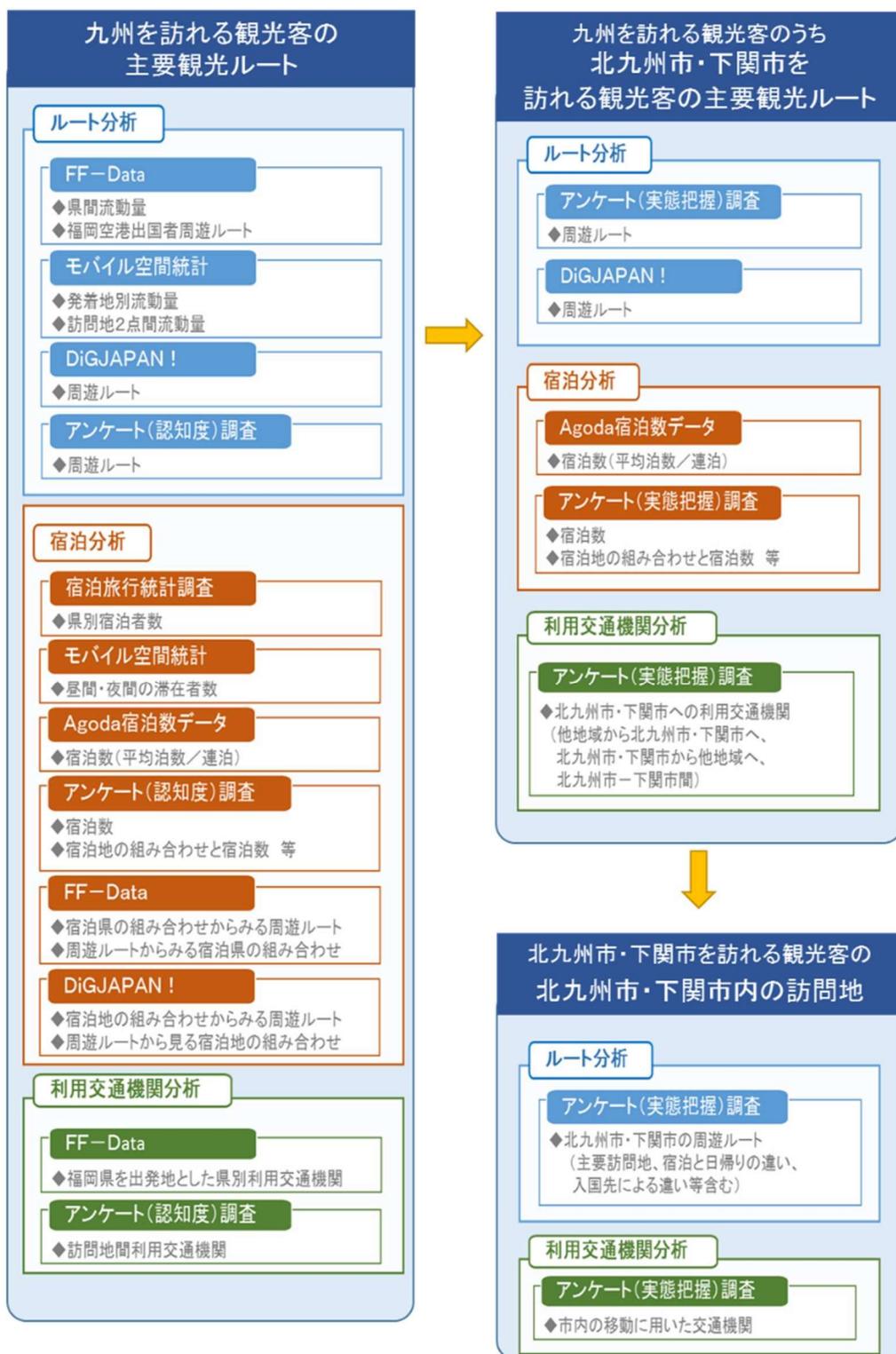
平成27年4月～平成29年3月

#### 《データ項目》

各都道府県訪問率、平均泊数

#### 《分析可能な内容》

宿泊地、宿泊日数、国・地域別の特徴、熊本地震前後の違いについて



図表 2-2 (1) 分析データ概要図

## 第2節 アンケート調査分析

### ■調査概要

#### (1) 九州を訪れた観光客に対する調査（認知度調査）

北九州市及び下関市のどちらにも訪れたことがない観光客に対し、北九州市・下関市の認知度等に関する調査を実施。

##### 《調査時期》

平成29年9月～平成30年2月

##### 《調査方法》

調査員による対面聞き取り調査

##### 《調査場所》

福岡空港

#### (2) 北九州市及び下関市を訪れた観光客に対する調査（実態把握調査）

北九州市又は下関市を訪れた観光客に対し、市内での目的や行動等に関する調査を実施。

##### 《調査時期》

平成29年9月～平成30年3月

##### 《調査方法》

調査員による対面聞き取り調査

##### 《調査場所》

福岡空港・北九州空港・唐戸市場・小倉城周辺（リバーウォーク・小倉城・旦過市場）

### ■回収結果

#### (1) 九州を訪れた観光客に対する調査

国籍	有効回収数
韓国	261
台湾	207
香港	273

#### (2) 北九州市及び下関市を訪れた観光客に対する調査

国籍	有効回収数
韓国	504
台湾	507
香港	312

■アンケート調査票

[認知度調査]

**北九州市及び下関に関する認知度調査**

Q1. あなたはどの国・地域にお住まいですか。※1つだけ

韓国	1. ソウル 2. 釜山 3. 仁川 4. 大邱 5. 大田 6. その他 ( )
台湾	1. 台北 2. 高雄 3. 台中 4. 台南 5. 板橋 6. その他 ( )

Q2. あなたの性別、年齢を選んで下さい。※それぞれ1つだけ

性別	: 1. 男性 2. 女性
年齢	: 1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 6. 50歳代 7. 60歳代以上

Q3. あなたも含めて、何人での、どなたと一緒に旅行ですか。※子供や乳幼児も含む

( )人	
2人以上の場合	➤ 1. 家族 2. 友人 3. 職場・学校等の団体旅行 4. その他 ( )

Q4. 九州への訪問は何回目ですか。※1つだけ

1. 初めて 2. 2回目 3. 3回目 4. 4回目以上
-------------------------------

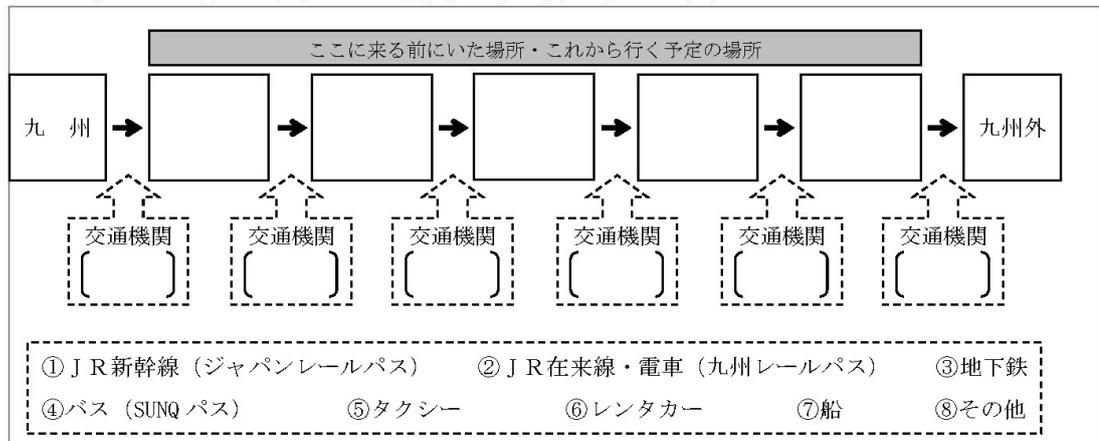
Q5. 今回の旅行はどこから出入国しますか。※1つだけ

自国～日本	入国 (1つだけ) : 1. 福岡空港 2. 博多港 3. 北九州空港 4. その他 ( ) 出国 (1つだけ) : 1. 福岡空港 2. 博多港 3. 北九州空港 4. その他 ( )
-------	--

Q6. 今回の旅行での宿泊数および宿泊施設数をお答えください。また宿泊地を教えてください。

九州内での宿泊数	泊	宿泊施設数	施設
宿泊地① ( )	宿泊地② ( )	宿泊地③ ( )	宿泊地④ ( )

Q7. 今回の旅行で訪れた観光地と移動に用いた交通機関をご記入下さい。これから訪問する観光地についても予定をご記入下さい。※観光地は具体名を、交通機関は下表より番号をお選び下さい。



Q8. 今回の旅行の主な目的は何ですか。※1つだけ

目的	具体名
1. 自然・景観	
2. 名所・旧跡	
3. 食事	
4. 温泉	
5. 街歩き	
6. 買物	
7. その他 ( )	

**Q9. 九州を訪れる前の観光情報の入手先は次のどれですか。※いくつでも**

1. テレビやラジオからの情報（ニュースや旅番組等）【具体名：\_\_\_\_\_】
2. インターネットでの情報（個人のブログや掲示板等）【具体名：\_\_\_\_\_】
3. ウェブサイトの情報（自治体や観光協会等の公式HP、旅行サイト等）【具体名：\_\_\_\_\_】
4. SNS の口コミ、投稿【①Facebook、②Twitter、③YouTube、④Instagram、⑤その他（\_\_\_\_\_）】
5. 新聞や雑誌、ガイドブック【具体名：\_\_\_\_\_】
6. 自治体や観光協会等が行うキャンペーン
7. 旅行会社の紹介やパンフレット
8. 家族や友人・知人の勧め（口コミ）
9. その他（\_\_\_\_\_）
10. 特に情報源は無い

**Q10. 旅行中のインターネット接続方法は次のどれですか。※いくつでも**

1. Wi-Fi ルーター持参
2. SIM カード購入
3. 無料 Wi-Fi スポット
4. その他（\_\_\_\_\_）
5. 使用していない

**Q11. 北九州市・下関市を知っていますか。※1つだけ**

1. 両市知っている
2. 北九州市のみ知っている
3. 下関市のみ知っている
4. どちらも知らない

**Q12. 北九州市・下関市の観光施設を知っていますか。※いくつでも**

北九州市	下関市	
1. 門司港レトロ	16. 唐戸市場	30. 知らない
2. 小倉城	17. 海響館	
3. 旦過市場	18. 海峡ゆめタワー	
4. 九州鉄道記念館	19. 火の山公園	
5. 平尾台	20. 角島	
6. いのちのたび博物館	21. 長府庭園	
7. 皿倉山	22. 長府毛利邸	
8. 河内藤園	23. 功山寺	
9. わっしょい百万夏まつり	24. 赤間神宮	
10. 祇園（小倉祇園太鼓、黒崎祇園山笠、戸畑祇園大山笠）	25. 日清講和記念館	
11. 関門海峡花火大会	26. 巖流島	
12. あるある City （漫画ミュージアム）	27. 下関市立歴史博物館	
13. 関門トンネル（人道）	28. しものせき海峡まつり	
14. 関門橋	29. その他（_____）	
15. その他（_____）		

※調査票コード

調査地点 ID	調査年月日	調査時刻	調査時天候	調査員 ID
			晴・曇・雨	